

大会展望

男子は、混戦が予想される。美濃加茂高が大会を引っ張ることにはなりそうだが、ウィンターカップを終えたばかりで準備期間が短く、主力メンバーが多く変わっている中での新人戦は何が起こってもおかしくない。対抗は、岐阜地区予選で富田高を破ってきた岐阜農林高だ。今年は、何としても頂点を目指したい。富田高・大垣工高などのシード校の活躍と共に、各地区を上位で勝ち抜いてきたチームが、各ブロックでの波乱を巻き起こすことができるか。

美濃加茂高が最有力候補であろう。最も準備期間の短いチームが、一戦一戦をどのように勝ち上がってくるのか楽しみだ。対抗は東濃地区1位の土岐商高と飛騨地区2位の斐太高だ。両チームとも能力の高い選手を起点に、王者の隙を突き、金星を狙いたい。

富田高。前大会の悔しさを胸に秘め、後輩たちがその夢の実現のために闘志を燃やし頂点の座を狙っているに違いない。同じく、昨年度の主力メンバーが残る飛騨地区1位の高山西高も、その座に上り詰めようと虎視眈々と狙っているだろう。このチームは、今大会台風の目となりそう。ブロック決勝は見逃せない。また、東濃地区2位の中京高の飛躍にも期待したい。

女子は、言うまでもなく岐阜女子高である。最近では、普段ベンチ入りすることが少ないメンバーでも、大差で勝利を納めていく。そのチーム力の高さは、まさに全国トップクラスだと言える。対抗は、県岐阜商だろう。昨年も全国大会を経験し、着実に全国での経験値を積み重ねている。全国のトップクラスのチームにどこまで食い下がることができるのか、活躍に期待したい。また、西濃地区で大垣商業高に変わってシード権を獲得した大垣北高や、激戦の岐阜地区を勝ち抜いてきた岐阜農林高といったシード校を倒すべく、各ブロックでも白熱した試合が行われるだろう。そして、東海大会出場をかけた激しい戦いも予想される。地区大会で悔しい思いを味わってきた実力あるチームがどう絡んでくるかも見逃せない。

岐阜女子高は昨年3度の準優勝を経験し、悔し涙を何度も流してきた。その後ろ姿をみて成長してきた下級生に、全国でのさらなる偉業を期待したい。中濃地区2位の関商工高や飛騨地区2位の飛騨高山高が、全国のプレイを肌で感じながら女王に果敢に挑んでほしい。

岐阜農林高。激戦ブロックを勝ち抜いてくるだろう。対抗は、岐阜地区4位の岐阜総合高か飛騨地区1位の高山西が勝ち上がってくるであろう。ブロック決勝での激闘が楽しみだ。また、各地区大会での成績上位校がひしめく激戦ブロック。どの試合も目が離せない。

大垣工高の復活。西濃の古豪が昨年シード権を獲得し、シード校の常連となりそうな気配を感じる。気迫あふれるディフェンスと華麗なシュートで東海大会出場も視野に入れているだろう。西濃地区2位の大垣商高や岐阜地区3位の岐阜総合高もチーム一丸となって上位進出を目指す。

岐阜農林高が最有力であろう。堅実なディフェンス力は、今年も健在である。その伝統のディフェンスに、よりスピーディーなオフェンスが加わっている。伝統のバスケットを進化させ優勝を目指す。中濃地区2位の帝京大可児高と東濃地区3位の中津川工高の活躍にも期待したい。

大垣北高が西濃地区のシード権を奪ってきた。一戦一戦油断はできないが、躍進を期待したい。対抗には、東濃地区1位の土岐商高東濃地区2位の恵那高が予想される。地区大会での決勝の再現となるか注目だ。

岐阜商業高が最有力であろう。2年連続で全国大会を経験し、チームとしての経験値は高まっているに違いない。先輩の背中を見て成長してきた選手の活躍に期待したい。挑むのは、中濃地区1位的美濃加茂高と西濃地区2位の大垣南高だろう。